

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)

【公表番号】特表 2002-540133(P2002-540133A)

【公表日】平成 14 年 11 月 26 日 (2002.11.26)

【出願番号】特願 2000-607598(P2000-607598)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/02 (2006.01)

A 6 1 Q 5/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/075

A 6 1 K 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 11 日 (2006.8.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (a) 陰イオン性界面活性剤および両性界面活性剤から成る群から選択される、5 重量%から 50 重量%までの界面活性剤成分；

(b) 0.05 重量%から 10 重量%までの分散された不溶性非イオン性シリコーンヘアコンディショニング剤；

(c) 0.05 重量%から 10 重量%までの水溶性有機両性高分子ヘアコンディショニング剤；および

(d) 水性担体

を包含することを特徴とするヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項 2】 前記組成物が、陰イオン性および非イオン性界面活性剤を含む請求項 1 に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項 3】 前記界面活性剤成分 (a) が、5 重量%から 25 重量%までの濃度で存在し、前記シリコーンヘアコンディショニング剤 (b) が、0.1 重量%から 7 重量%までの濃度で存在し、そして前記両性高分子コンディショニング剤 (c) が、0.1 重量%から 4 重量%までの濃度で存在し、全てが、水溶液 (d) 中にある請求項 1 に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項 4】 前記両性高分子ヘアコンディショニング剤が、少なくとも 1 つのエチレンで不飽和化した陽イオン性モノマー、少なくとも 1 つのエチレンで不飽和化した酸含有モノマー、およびエチレンで不飽和化した非イオン性モノマーである 0 モル%から 80 モル%までのモノマーから構成され、そして、前記エチレンで不飽和化した酸含有モノマーが、カルボン酸およびスルホン酸から成る酸の群から選択される請求項 1 に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項 5】 前記両性高分子ヘアコンディショニング剤が、  
(A) アルキルアクリルアミドプロピル - ジメチルアンモニウムハライド、アルキルメタクリルアミドプロピルジメチルアンモニウムハライド、アルキルアクリロイルオキシエチルジメチルアンモニウムハライド、アルキルメタクリロイルオキシエチルジメチルアンモニウムハライド、およびジアルキルジアリルアンモニウムハライドから成る群から選択される、1 モル%から 99 モル%までの少なくとも 1 つのモノマー；

(B) アクリル酸 (AA)、メタクリル酸 (MAA)、2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸 (AMPSA)、2-メタクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸 (MAMPSA)、 $n$ -メタクリルアミドプロピル、 $n$ 、 $n$ -ジメチルアミノ酢酸、 $n$ -アクリルアミドプロピル、 $n$ 、 $n$ -ジメチルアミノ酢酸、 $n$ -メタクリロイルオキシエチル、 $n$ 、 $n$ -ジメチルアミノ酢酸、および  $n$ -アクリロイルオキシエチル、 $n$ 、 $n$ -ジメチルアミノ酢酸から成る群から選択される、1モル%から99モル%までの少なくとも1つのモノマー；および

(C) 粘度計によって測定される場合に100,000から10,000,000までの重量平均分子量を有する、 $C_1 - C_{22}$  直鎖または分岐鎖アルキルアクリレートまたはメタクリレート、 $C_1 - C_{22}$  直鎖または分岐鎖  $n$ -アルキルアクリルアミドまたはメタクリルアミド、アクリルアミドメチルアクリルアミド、 $n$ -ビニルピロリドン、ビニルアセテートまたはエトキシ化およびプロポキシ化アクリレートまたはメタクリレートから成る群から選択される、0モル%から80モル%までの少なくとも1つのモノマーから構成されることを特徴とする請求項4に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項6】 前記両性高分子ヘアコンディショニング剤中の(A)：(B)のモル比が、25：75から75：25までの範囲にあり、そして、(C)が、1モル%から40モル%までの濃度で両性高分子に存在し、かつ、 $C_1 - C_{22}$  アクリル酸エステル、 $C_1 - C_{22}$  メタクリル酸エステル、アクリルアミド、および  $C_1 - C_{22}$   $n$ -アルキルアクリルアミドから成る群から選択される少なくとも1つのモノマーである請求項5に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項7】 前記  $C_1 - C_{22}$  アクリル酸エステルが、メチル、エチル、ブチル、オクチル、ラウリル、およびステアリルアクリル酸エステルから成る群から選択され、前記  $C_1 - C_{22}$  メタクリル酸エステルが、メチル、エチル、ブチル、オクチル、ラウリル、およびステアリルメタクリル酸エステルから成る群から選択され、そして、前記  $C_1 - C_{22}$   $n$ -アルキルアクリルアミドが、 $n$ -メチル、 $n$ -エチル、 $n$ -ブチル、 $n$ -オクチル、 $t$ -オクチル、 $n$ -ラウリル、および  $n$ -ステアリルアクリルアミドおよびメタクリルアミドから成る群から選択される請求項6に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項8】 (A)のモノマーが、MAPTAC、APTAC、AETAC、METAC、METAMSおよびDMDAACから成る群から選択され、かつ(B)から得られるモノマーが、アクリル酸、メタクリル酸、およびAMPSAから成る群から選択され、そして、(A)から得られる少なくとも1つのモノマーが、25：75から75：25までの比(A)：(B)で(B)から得られる少なくとも1つのモノマーに対するモル比で存在し、かつ、(C)から得られる少なくとも1つのモノマーが、1モル%から35モル%までの量で存在する請求項5に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項9】 さらに、前記シリコンヘアコンディショニング剤のための懸濁剤と、そして、炭化水素油、10個から22個までの炭素原子を有する脂肪酸エステル、およびそれらの混合物から成る群から選択される0.05重量%から5重量%までの有機水不溶性液体とを包含する請求項1に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項10】 前記両性高分子ヘアコンディショニング剤が、20：1の水：シャンプー組成物の重量比で、水で成分(a)、(b)および(c)を希釈して複合体コアセルベート形態で存在する請求項1に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項11】 (a)が、15重量%の陰イオン性界面活性剤および1重量%から2重量%までの非イオン性界面活性剤を含有し、(b)が、0.5%から1.5%までのシリコンを含有し、そして(c)が、0.2重量%から0.4重量%までの前記両性高分子ヘアコンディショニング剤を含有する請求項8に記載の組成物と毛髪を接触させることを含む毛髪を処置する方法。

【請求項12】 (a)の前記陰イオン性界面活性剤が、ラウリルスルフェート、ラウリルエーテルスルフェート、オレフィンスルホネート、およびそれらのアンモニウム、

ナトリウムおよびアミン塩から成る群から選択され、(a)の前記非イオン性界面活性剤が、脂肪酸ジまたはモノエタノールアミド、ポリエチレンまたはポリプロピレングリコールのモノまたはジ脂肪酸エステル、およびC<sub>1</sub> - C<sub>8</sub>グリコールのモノまたはジ脂肪酸エステルから成る群から選択され；そして、(b)の前記シリコーンが、ジメチコーン、シクロメチコーン、トリメチルシリルアモジメチコーン、フェニルトリメチコーン、トリメチルシロキシシリケート、ポリオルガノシロキサン、ポリアルキルシロキサン、ポリアリールシロキサン、ポリアルカリルシロキサン、およびポリエステルシロキサン共重合体から成る群から選択される請求項11に記載の組成物。